



2019年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 富士製薬工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4554 URL <http://www.fujipharma.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武政 栄治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 コーポレート企画部長 (氏名) 上出 豊幸

TEL 03-3556-3344

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	27,324	2.0	3,726	5.0	3,714	4.4	2,521	3.3
2018年9月期第3四半期	27,872	7.1	3,547	0.4	3,558	6.9	2,606	3.0

(注)包括利益 2019年9月期第3四半期 2,279百万円 (10.2%) 2018年9月期第3四半期 2,537百万円 (23.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	83.17	
2018年9月期第3四半期	87.10	

(注)2018年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	60,844	39,033	64.1
2018年9月期	53,117	35,350	66.5

(参考)自己資本 2019年9月期第3四半期 39,031百万円 2018年9月期 35,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		28.00		14.00	
2019年9月期		14.00			
2019年9月期(予想)				15.00	29.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2018年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年9月期の中間配当以前の配当については、分割前の株式に対するものであります。

なお、株式分割を考慮しない場合の2018年9月期の期末の1株当たり配当金は28円00銭、年間合計では56円00銭となります。

また、年間の1株当たり配当につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため表示しておりません。

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,815	2.9	4,535	3.3	4,506	0.8	3,396	0.7	113.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2018年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2019年9月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2019年9月期の1株当たり当期純利益は227円01銭であります。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期3Q	31,253,800 株	2018年9月期	31,253,800 株
期末自己株式数	2019年9月期3Q	101,726 株	2018年9月期	1,332,442 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期3Q	30,318,537 株	2018年9月期3Q	29,931,134 株

(注)2018年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項については(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は比較的堅調な世界経済の影響を受け、企業業績は底堅く推移し、緩やかな回復基調で推移しましたが、引き続き不安定な海外の政治情勢や米国の保護主義的な通商政策による米中貿易摩擦などにより先行き不透明な状況が続いております。

医療用医薬品業界におきましては、毎年の薬価改正に加え、新薬創出加算の適用品目を大幅削減、長期収載品の一部を後発医薬品と同一価格まで下げる厳しい薬価基準制度が決まるなど、その事業環境はますます厳しくなっております。

このような状況のもと、当社グループは「Fuji Pharma ブランディング」をテーマとし、独自で付加価値の高い医薬品ビジネスをグローバルな観点から取り組み、医療に携わる人々や健康を願う人々からの信頼、共感、親しみを築き上げ、Fuji Pharma グループの経営理念「成長」と「貢献」の更なる実現を果たし、戦略領域における「ブランド×ジェネリック×CMO」の独自相乗発展モデルの構築を進めております。ジェネリック医薬品は、国民医療費抑制の重要施策として今後も供給数量が増加することが見込まれますが、一方で安定供給への対応や薬価のより一層の引き下げなども想定されるなかで、当社グループとしては、戦略領域におけるスペシャリティファーマを指していくため、グローバルプレイヤーに対抗できるコスト競争力の強化、収益性が高いブランド薬、バイオシミラー等へのシフト、グローバル市場への展開に向けた経営基盤の確立が、喫緊の経営課題であると認識しております。

そのなかで当社は、重点領域である産婦人科領域において、2016年に当社が初めて製造販売承認を取得した「生殖補助医療における黄体補充」を効能・効果とする天然型黄体ホルモン製剤「ウトロゲスタン腔用カプセル200mg」の販売に注力するとともに、ジェネリック医薬品の子宮内膜症治療剤「ジェノゲスト錠」、新薬の月経困難症治療剤「ルナベル配合錠ULD」など主力製品を中心にシェア拡大を図っております。また2019年3月には、ジェネリック医薬品の緊急避妊剤「レボノルゲストレル錠」の販売を開始致しました。当社は今後も産科・婦人科領域の製品の拡充を図ることで、より多くの患者様のQOLの向上に貢献してまいります。

放射線科領域においては、非イオン性尿路・血管造影剤「オイパロミン注」、非イオン性造影剤「イオパーク注」の更なるシェアの拡大に向け注力しております。

また、当社は2018年12月16日付でAlvogenグループであるAlvotech hf社と複数品目のバイオシミラーの日本における商業化に関して、独占的なパートナーシップに合意するとともに、両社の関係性をさらに深めるため、当社はAlvotech HDに資本参加することと致しました。高額なバイオ医薬品が増加し医療費がますます膨らむ中、医療費増加の抑制の一助となる日本国内でのバイオシミラー事業の拡大に向けて準備を進めて参ります。さらに、当社は日本における抗がん剤事業強化、ASEANを中心としたアジアにおける製造・販売面での相互補完を目的として、2019年3月20日付で同じAlvogenグループで台湾の上場企業であるLotus Pharmaceutical Co., Ltd.と資本業務提携に関する契約を締結致しました。これらの提携により、日本国内でさらに当社の事業価値を高めてゆくことはもとより、グローバルに活躍できる機会を広げて参ります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、27,324百万円（前年同期比2.0%減）となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費が減少したことなどにより営業利益は3,726百万円（同5.0%増）となり、経常利益は3,714百万円（同4.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,521百万円（同3.3%減）となりました。

なお、当社グループは、医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産額は60,844百万円となり、前連結会計年度末比7,727百万円の増加、純資産は39,033百万円と前連結会計年度末に比べ3,683百万円の増加となり、自己資本比率は64.1%となりました。

(資産)

資産の部においては、流動資産については、現金及び預金が増加した一方で、受取手形及び売掛金が減少したこと等により1,275百万円の減少、固定資産については、投資有価証券が増加したこと等により9,002百万円増加しております。

(負債)

負債の部においては、流動負債については、1年以内返済予定の長期借入金が増加したこと等により683百万円増加しております。固定負債については、長期借入金の増加等により3,360百万円増加しております。

(純資産)

純資産の部においては、自己株式の処分による資本剰余金の増加および自己株式の減少、利益剰余金の増加があったこと等により3,683百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、2018年11月9日に公表した計画に対して、ほぼ予定どおりの進捗であることから、2019年9月期の連結業績予想は修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(追加情報)

(役員向け株式交付信託について)

当社は、中長期的な業績向上と企業価値増大への貢献意欲を高めることを目的として、当社の取締役(社外取締役を除きます。)及び執行役員(株式交付規程に定める受益者要件を満たす者)を対象とした業績連動型株式報酬制度「役員向け株式交付信託」を導入しております。当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じて、総額法を適用しております。

- (1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として設定した信託を通じて当社株式(当社普通株式。以下同じ)を取得し、取締役等に対して、当社取締役会が定める役員等株式交付規程に従って、その役位及び業績に応じて付与されるポイントに基づき、信託を通じて当社株式及び金銭を毎年交付する株式報酬制度であります。取締役会は、役員等株式交付規程に従い、毎年12月にポイント算定の基礎となる金額を決議し、それに応じた株式を、翌年11月に交付いたします。

- (2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付属費用の金額を除く)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度69百万円、44,828株、当第3四半期連結会計期間51百万円、33,369株であります。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,251	7,309
受取手形及び売掛金	16,903	14,110
商品及び製品	3,169	3,062
仕掛品	2,812	3,046
原材料及び貯蔵品	5,303	5,093
未収入金	39	56
その他	453	1,559
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	34,927	34,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,573	5,356
機械装置及び運搬具(純額)	1,814	1,652
土地	915	915
リース資産(純額)	2,860	2,466
建設仮勘定	315	1,146
その他(純額)	220	197
有形固定資産合計	11,700	11,734
無形固定資産		
のれん	1,764	1,552
その他	455	1,761
無形固定資産合計	2,220	3,313
投資その他の資産		
投資有価証券	60	7,535
長期前渡金	2,320	2,187
繰延税金資産	1,027	952
その他	861	889
投資その他の資産合計	4,269	11,564
固定資産合計	18,189	26,612
資産合計	53,117	60,844

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,746	5,059
1年内返済予定の長期借入金	-	2,840
リース債務	537	539
未払法人税等	373	441
賞与引当金	1,161	603
役員賞与引当金	14	5
返品調整引当金	17	27
その他	2,695	2,712
流動負債合計	11,546	12,229
固定負債		
長期借入金	2,000	5,740
リース債務	2,534	2,127
退職給付に係る負債	1,210	1,303
その他	475	409
固定負債合計	6,220	9,581
負債合計	17,767	21,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,799	3,799
資本剰余金	5,023	5,841
利益剰余金	27,119	28,802
自己株式	△1,504	△78
株主資本合計	34,438	38,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	△206
繰延ヘッジ損益	23	-
為替換算調整勘定	850	852
退職給付に係る調整累計額	27	22
その他の包括利益累計額合計	909	667
非支配株主持分	2	2
純資産合計	35,350	39,033
負債純資産合計	53,117	60,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	27,872	27,324
売上原価	15,982	15,388
売上総利益	11,890	11,936
販売費及び一般管理費	8,342	8,210
営業利益	3,547	3,726
営業外収益		
受取利息	0	2
生命保険配当金	1	6
受取保険金	-	116
受取手数料	2	0
受取補償金	8	3
助成金収入	39	0
その他	39	21
営業外収益合計	93	150
営業外費用		
支払利息	29	30
売上割引	7	7
為替差損	40	121
その他	4	3
営業外費用合計	81	162
経常利益	3,558	3,714
特別利益		
固定資産売却益	3	1
特別利益合計	3	1
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	3	18
特別損失合計	3	18
税金等調整前四半期純利益	3,558	3,697
法人税、住民税及び事業税	827	993
法人税等調整額	123	181
法人税等合計	951	1,175
四半期純利益	2,607	2,521
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,606	2,521

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,607	2,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△215
繰延ヘッジ損益	7	△23
為替換算調整勘定	△71	1
退職給付に係る調整額	△3	△4
その他の包括利益合計	△69	△242
四半期包括利益	2,537	2,279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,537	2,279
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年3月20日開催の取締役会決議に基づき、2019年4月5日付で、Lotus Japan Holdings合同会社を割当先とした自己株式1,219,300株の処分を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が817百万円の増加、並びに自己株式が1,407百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が5,841百万円、自己株式が78百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループ(当社及び連結子会社)は、医薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

薬効	前第3四半期連結累計期間 自 2017年10月1日 至 2018年6月30日		当第3四半期連結累計期間 自 2018年10月1日 至 2019年6月30日		前年同期比 増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
(製品)					
診断用薬	8,257	29.6	8,397	30.7	1.7
ホルモン剤	5,823	20.9	6,154	22.5	5.7
代謝性医薬品	1,218	4.4	1,165	4.3	△4.4
循環器官用薬	726	2.6	709	2.6	△2.3
抗生物質及び化学療法剤	613	2.2	624	2.3	1.7
泌尿・生殖器官系用薬	388	1.4	412	1.5	6.0
外用薬	364	1.3	408	1.5	12.3
その他	5,389	19.3	6,614	24.2	22.7
製品合計	22,782	81.7	24,486	89.6	7.5
(商品)					
ホルモン剤	2,185	7.8	1,501	5.5	△31.3
診断用薬	2,137	7.7	47	0.2	△97.8
体外診断用医薬品	610	2.2	448	1.6	△26.6
その他	157	0.6	841	3.1	434.6
商品合計	5,090	18.3	2,838	10.4	△44.2
合計	27,872	100.0	27,324	100.0	△2.0

- (注) 1. 当社グループは、医薬品事業の単一セグメントであり、セグメント情報を記載していないため、薬効分類別販売実績を記載しております。
2. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
3. 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。